

# 経皮的血管形成術 (PTA)

経皮的血管形成術 (PTA) は先端に小さく折りたたまれたバルーンを装着したカテーテルを用いて、狭窄してしまつた血管を拡張することにより、血液の流れを確保、再開させる手技です。また、治療に使用するカテーテルの太さは1mm～2mm程度の為、大きな切開を必要としません。

手技はまず、シャント不全に対するPTAの場合、シャント自体に穿刺し、ルートを確認させます。そこからガイドワイヤーを血管内に進め狭窄が認められる病変部(※1)を通過させます。次いで先端にバルーンが装着されたカテーテルをガイドワイヤーに沿わせて病変部に進め血管内腔を拡張(※2)させます。十分に血管が拡張されたことを確認し、カテーテル、シースを抜去して圧迫止血を行います。

※血管の内側より内膜を割いて広げますので、内損や出血の可能性はあります。

